

認知症サポーター養成講座

令和2年 9月26日(土) 午後2時~3時半

小竹図書館 2階会議室

明日のわたしのためだから——。
認知症サポーターになってみませんか？

「認知症の人は何もわからない」と思っていますか？ 実は、もの忘れがひどくなり、不安いっぱいのご本人が、一番苦しい思いをしています。でも、周囲の人々が認知症を理解して、その人ができない部分を補う「杖」となれば、穏やかに暮らすこともできます。偏見という心のバリアをなくし、一人でも多くの「人間の杖」を増やしていく——。これが、厚生労働省がすすめる「認知症サポーター100万人キャラバン」です。超高齢社会の今、あなたも認知症サポーターになって、暮らしやすい街をつくっていきませんか？

■認知症サポーターとは

認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る応援者です。

■認知症サポーターになるには

「サポーター養成講座」を受講すると、「認知症の人を支援します」という意思表示をする「**オレンジリング**」が手渡され、「認知症サポーター」になることができます。



講師：第2育秀苑 地域包括支援センター
村松 マキ氏

定員：15人（事前申込制）

対象：一般（中学生以上）

申込み：小竹図書館カウンターまたは電話にて

☎ 5995-1121

★マスクの着用をお願いします

★受付時に検温をさせていただきます。当日の体温と健康状態によりましては、参加を見合わせていただくことがありますので、ご了承ください。

★新型コロナウイルスの影響で、延期・中止となる場合があります。

